

宮崎県茶産業の発展と革新

宮崎県総合農業試験場 茶業支場

佐藤 邦彦

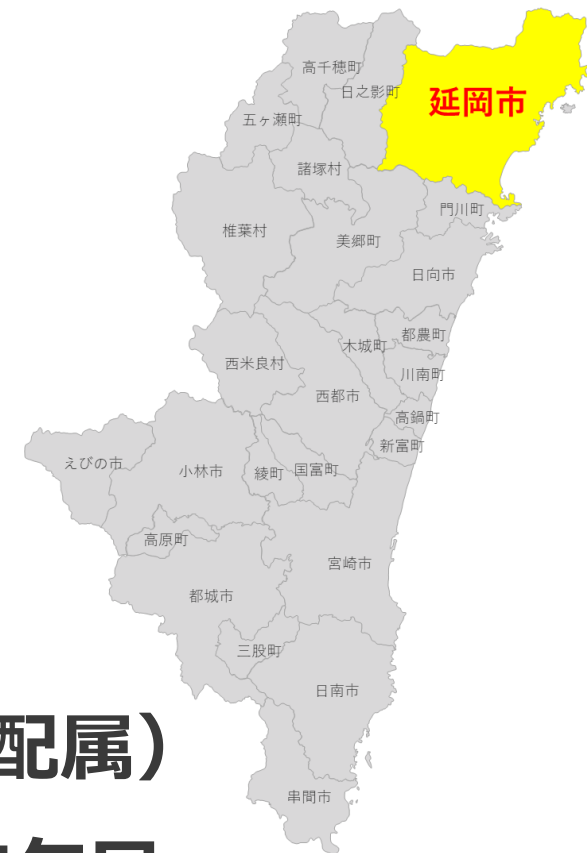


自己紹介



氏名：佐藤 邦彦

- ・ 宮崎県延岡市で生まれる
- ・ 沖縄県の琉球大学農学部卒業（水稻育種を専攻）
- ・ 沖縄県農業試験場名護支場勤務（1年間）
- ・ 宮崎県庁入庁（宮崎県総合農業試験場茶業支場に配属）
- ・ 宮崎県総合農業試験場茶業支場での勤務は通算25年目



- 宮崎県の紹介
- 宮崎県の茶業について
- 宮崎県総合農業試験場茶業支場の紹介と
これまでの主な研究成果
 - ・「栽培部門」の研究成果
 - ・「製茶部門」の研究成果
 - ・「育種部門」の研究成果
- 今後の研究について



宮崎県の紹介（宮崎県の位置）



九州7県

佐賀県

福岡県

宮崎県

鹿児島県

京都府

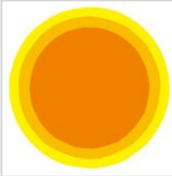
東京都

静岡県

三重県



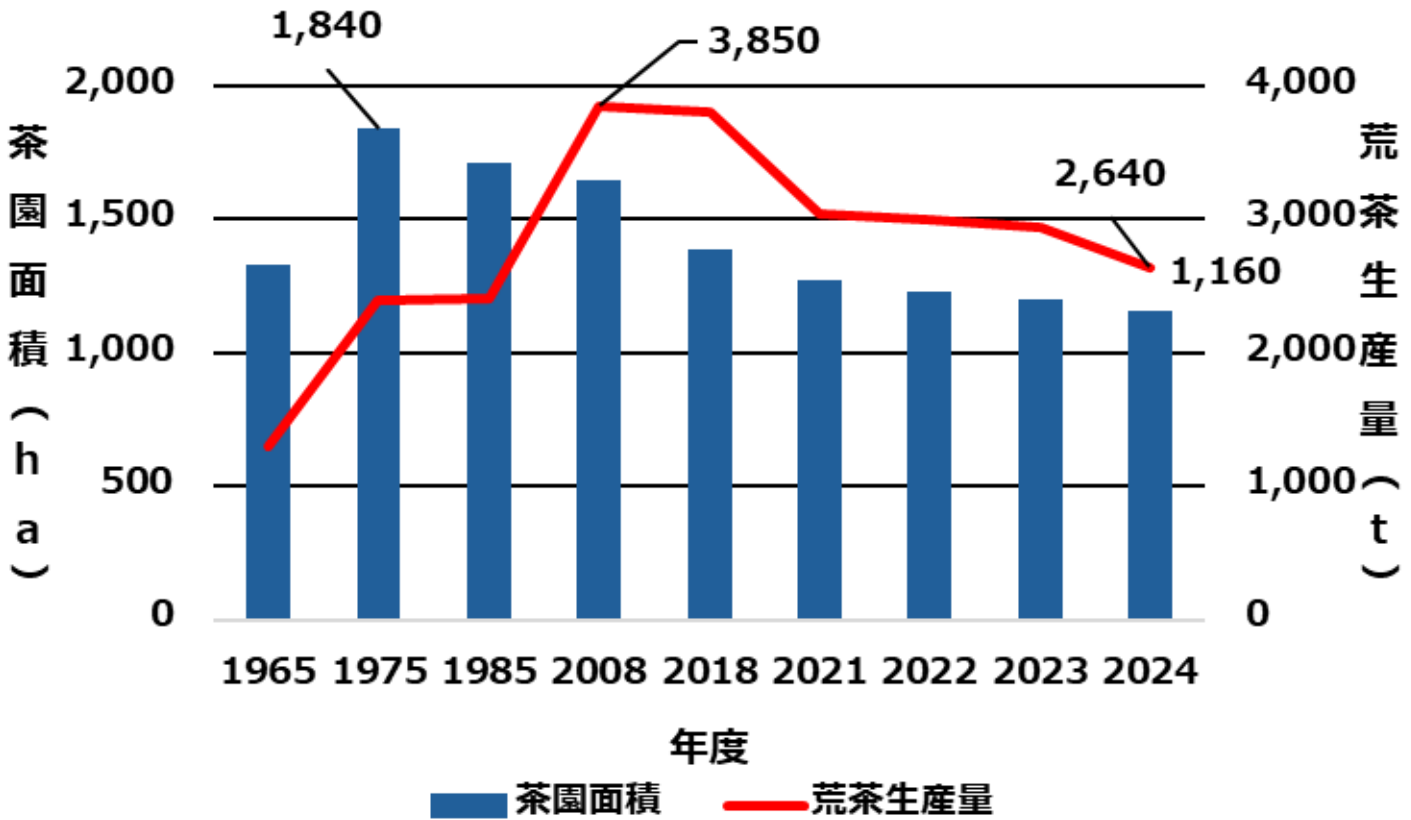
宮崎県茶業（茶園面積と荒茶生産量）



日本の
ひなた
宮崎県

お茶の主産県と生産の特色（令和6年度）

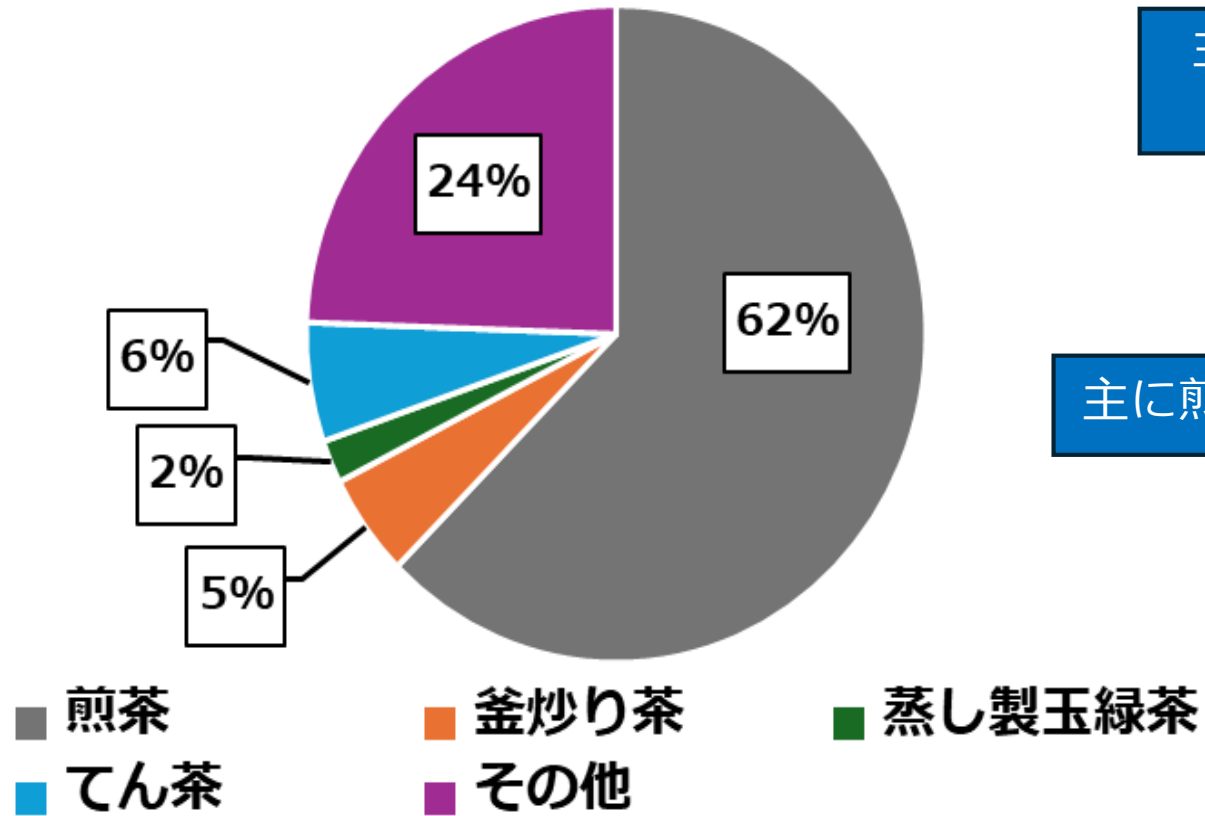
順位	府県名	栽培面積 (ha)	荒茶生産 量 (t)	生産の特色（順位は令和5年度のもの）
1	静岡	12,800	25,800	「せん茶」、特に「深蒸しせん茶」を主体とした生産。「てん茶」及び「かぶせ茶」の生産が全国3位
2	鹿児島	8,150	27,000	「せん茶」を主体とする。「てん茶」の生産が全国1位。多様な品種構成
3	三重	2,590	5,020	「玉露」及び「かぶせ茶」の生産が全国1位
4	京都	1,500	2,780	「玉露」及び「てん茶」の生産が全国2位
5	福岡	1,480	1,650	「玉露」の生産が全国3位
6	宮崎	1,160	2,640	「せん茶」主体の生産。「釜炒り茶」の生産が全国1位



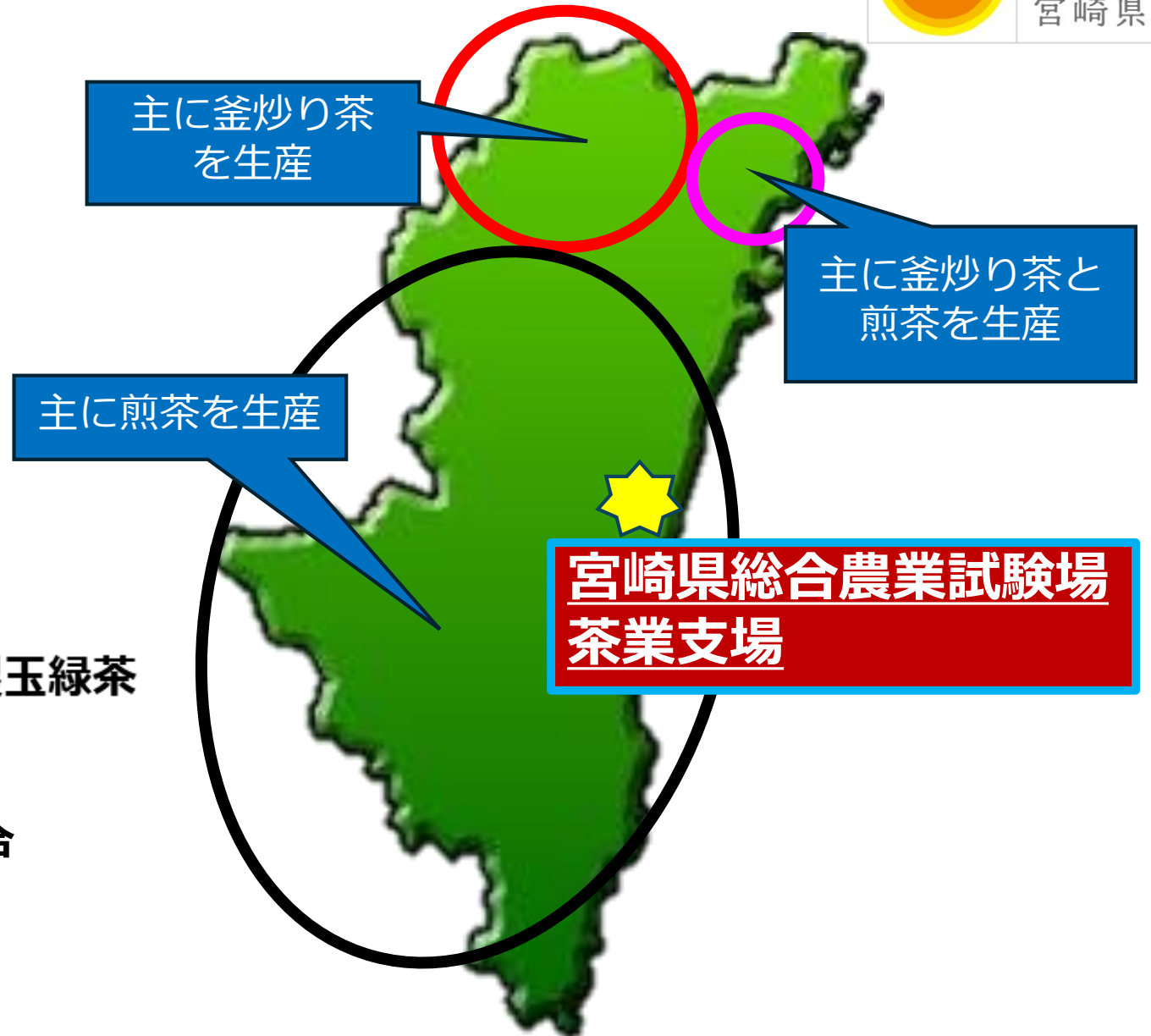
出典：農林水産省「茶をめぐる情勢」（令和7年4月）より



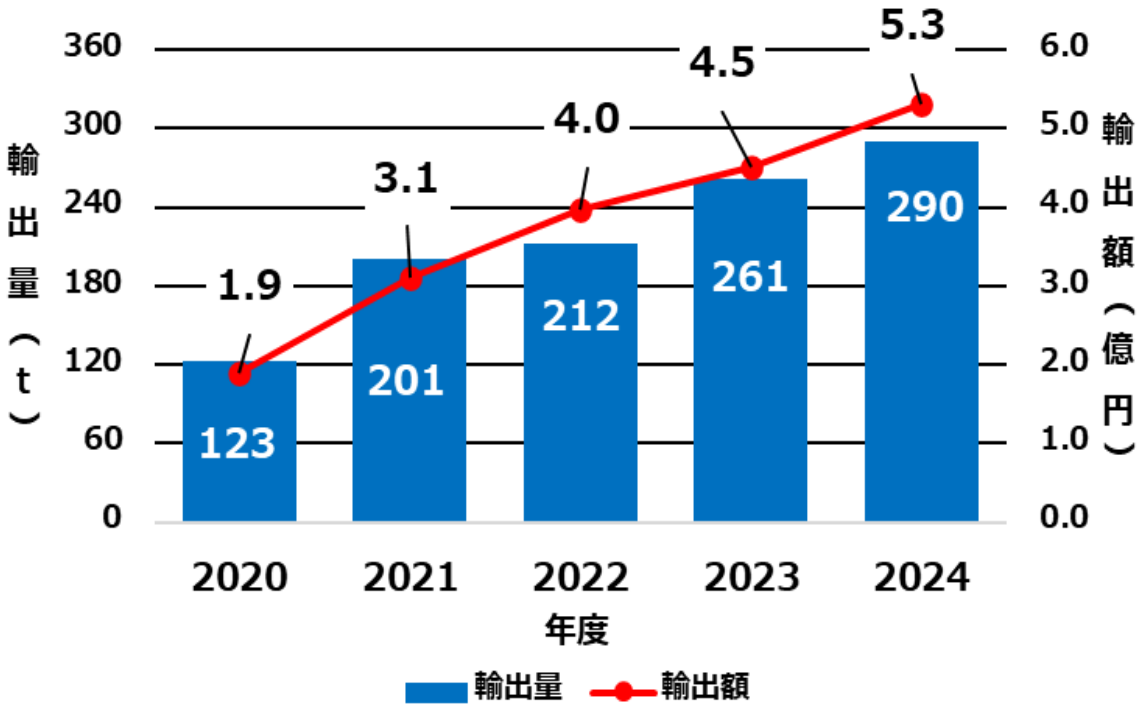
宮崎県茶業（生産されている茶種）



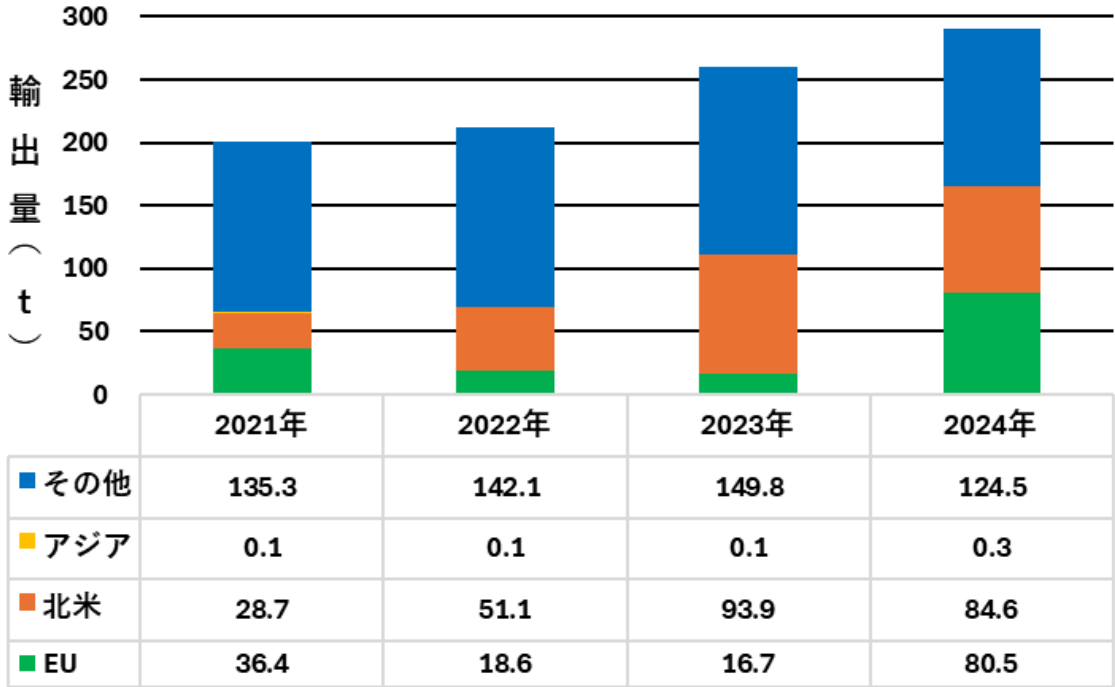
宮崎県で生産されている茶種別の割合



宮崎県茶業（輸出の状況と輸出先）



宮崎県における茶の輸出量と輸出額



宮崎県で生産された茶の輸出先



【参考：宮崎県産農畜水産物の輸出実績】



日本の
ひなた
宮崎県

1 品目別輸出実績

(単位 数量：トン、千本、金額：百万円)

	2023年度		2024年度		前年比		上位輸出地域 (金額ベース)
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
農産物	1,681	1,046	1,795	1,256	107%	120%	①タイ ②香港 ③米国
茶	260	451	290	531	111%	118%	①米国 ②EU ③カナダ
かんしょ	1,191	304	1,205	430	101%	141%	①タイ ②香港 ③シンガポール
花き	1,487	95	983	69	66%	72%	①米国 ②韓国 ③EU
畜産物	2,671	8,875	2,334	9,106	87%	103%	①台湾 ②米国 ③香港
牛肉	1,248	8,427	1,425	8,833	114%	105%	①台湾 ②米国 ③香港
鶏卵	964	301	634	180	66%	60%	①香港
水産物	1,354	1,542	1,605	1,767	119%	115%	①米国 ②EU ③台湾
計	5,706	11,463	5,733	12,128	100%	106%	

宮崎県農政水産部調べ



【参考：宮崎県産農畜水産物の輸出実績】



日本の
ひなた
宮崎県

2 輸出先国・地域別輸出実績

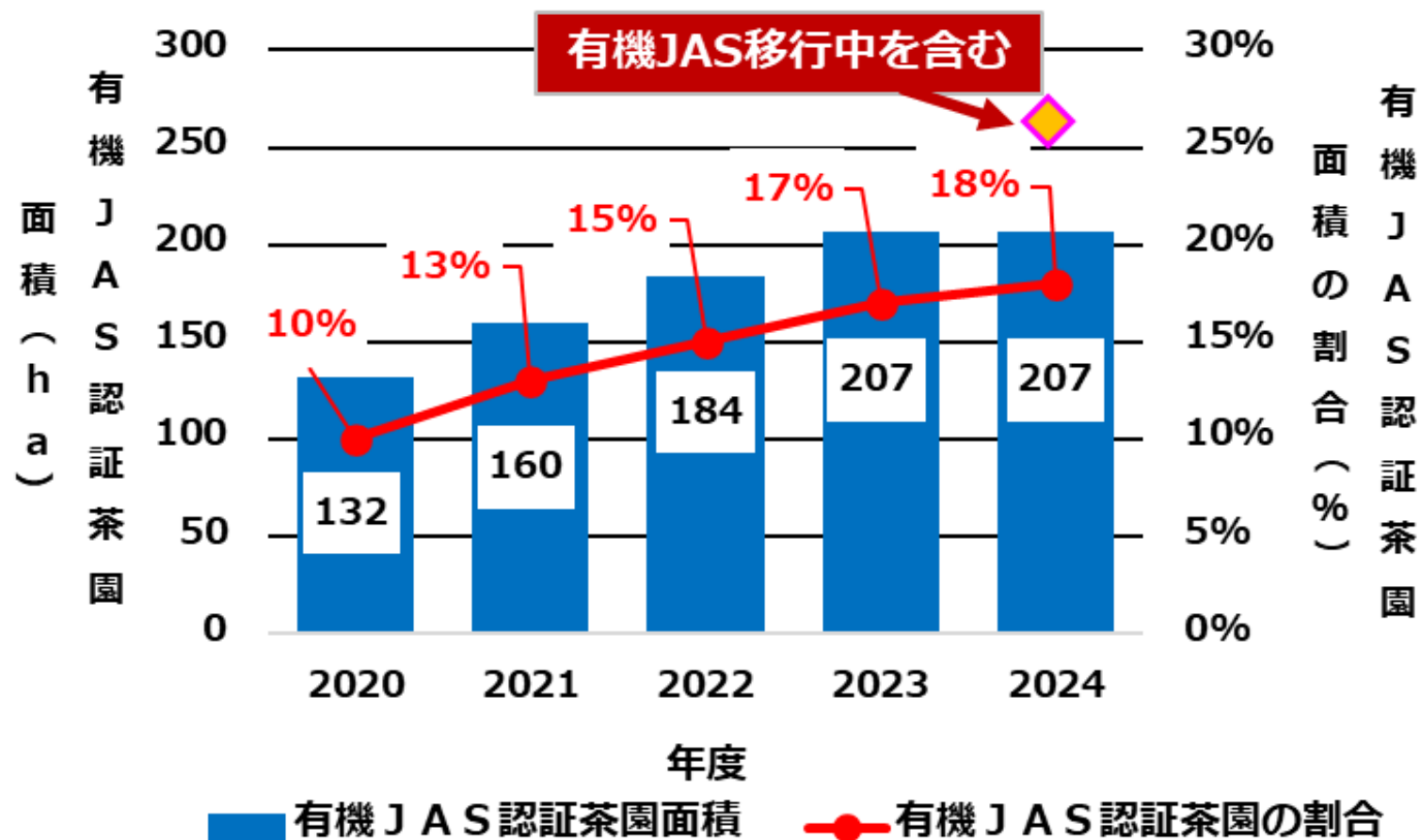
(単位 数量：トン、金額：百万円)

	2023年度		2024年度		前年比		上位輸出品目 (金額ベース)
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
アジア	4,535	6,826	4,185	6,706	92%	98%	
台湾	675	2,816	703	3,244	104%	115%	①牛肉 ②水産物 ③きんかん
香港	1,994	2,491	1,531	2,007	77%	81%	①牛肉 ②鶏卵 ③かんしょ
シンガポール	310	1,150	260	806	84%	70%	①牛肉 ②かんしょ ③水産物
アジア以外	1,171	4,638	1,549	5,423	132%	117%	
米国	478	2,862	702	3,254	147%	114%	①牛肉 ②水産物 ③茶
EU	422	945	480	1,141	114%	121%	①牛肉 ②水産物 ③茶
計	5,706	11,463	5,733	12,128	100%	106%	

宮崎県農政水産部調べ



宮崎県茶業（有機栽培について）



宮崎県における茶の有機栽培面積



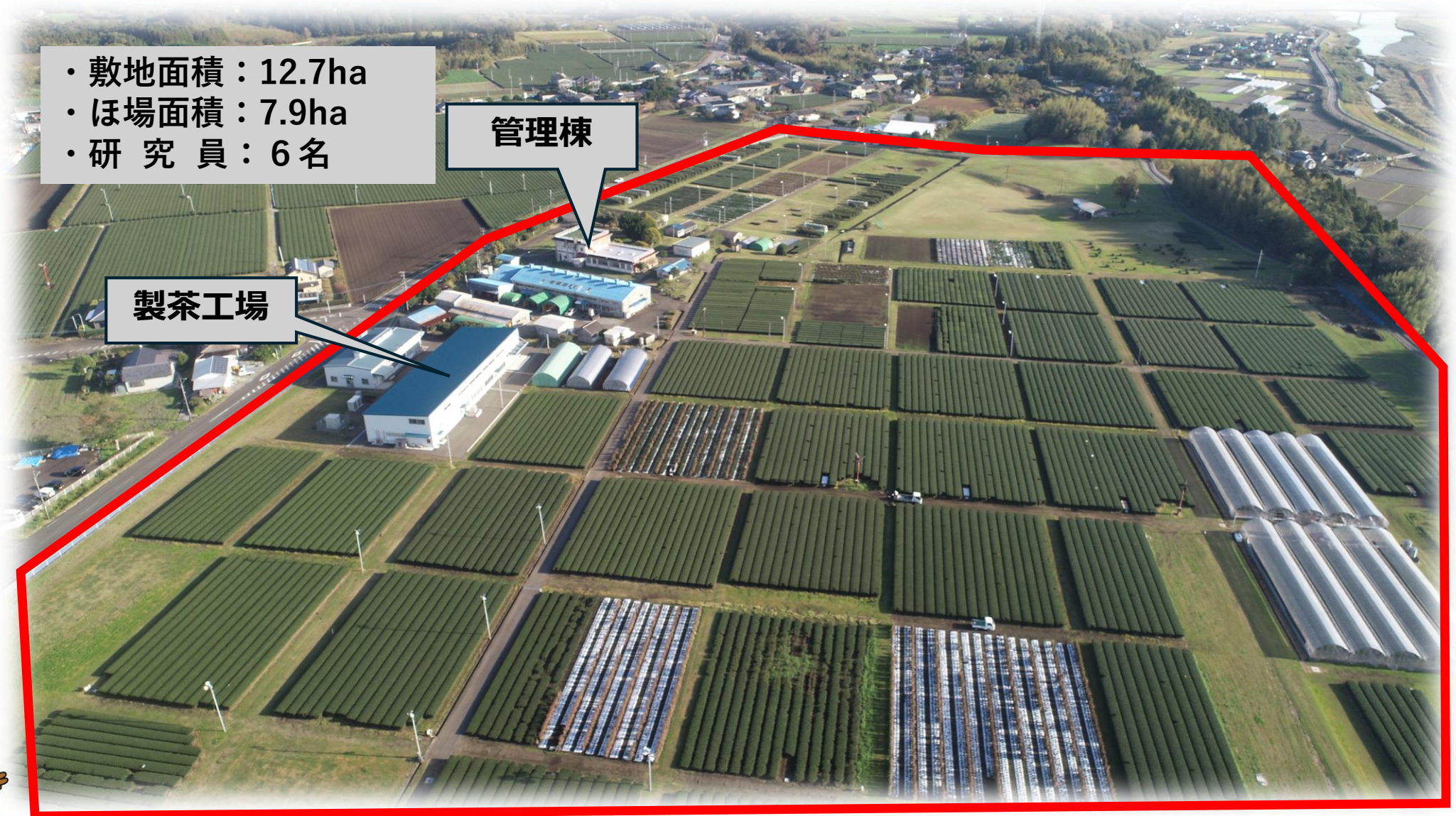
宮崎県総合農業試験場茶業支場の紹介



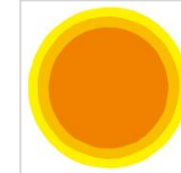
- ・敷地面積：12.7ha
- ・ほ場面積：7.9ha
- ・研究員：6名

管理棟

製茶工場



宮崎県総合農業試験場茶業支場の主な研究内容



日本の
ひなた
宮崎県

栽培部門

- ・ 輸出を可能にする防除体系の開発・実証
- ・ 有機栽培でも使用できる害虫の防除技術の開発

製茶部門

- ・ 半発酵茶、発酵茶等の安定生産技術の開発
- ・ 大規模煎茶地帯に対応した萎凋系緑茶や「みやざきブランド」につながる茶製造技術の開発

育種部門

- ・ 小売り茶向けの半発酵茶、発酵茶用品種及びドリンク向けの超多収、耐病性品種の育成
- ・ 輸出を後押しする有機栽培向け晩生品種の育成



主な研究成果



栽培部門

有機栽培でも使用できる害虫の防除技術の開発

① 散水によるクワシロカイガラムシの防除法

クワシロカイガラムシは、

- ・多発すると茶樹が枯れる重要害虫
- ・樹冠内に寄生するため、農薬がかかりにくく難防除害虫（農薬の散布量：1,000リットル／10a）
- ・一方で、孵化時期に降雨が多いと発生が少ない



【仮説】

- ・クワシロカイガラムシは、「水分」や「高湿度」に弱いのでは？



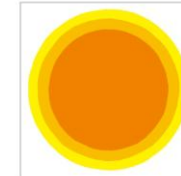
クワシロカイガラムシによる被害茶園（茶枝が枯死）



クワシロカイガラムシの雄まゆ



主な研究成果



日本の
ひなた
宮崎県

栽培部門

有機栽培でも使用できる害虫の防除技術の開発

① 散水によるクワシロカイガラムシの防除法

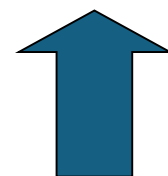


クワシロカイガラムシ雌卵

高湿度条件（湿度100%）の
状態で1日～7日間静置



処理後のふ化率を調査



湛水（卵を水につけた）状態で
1日～10日間静置



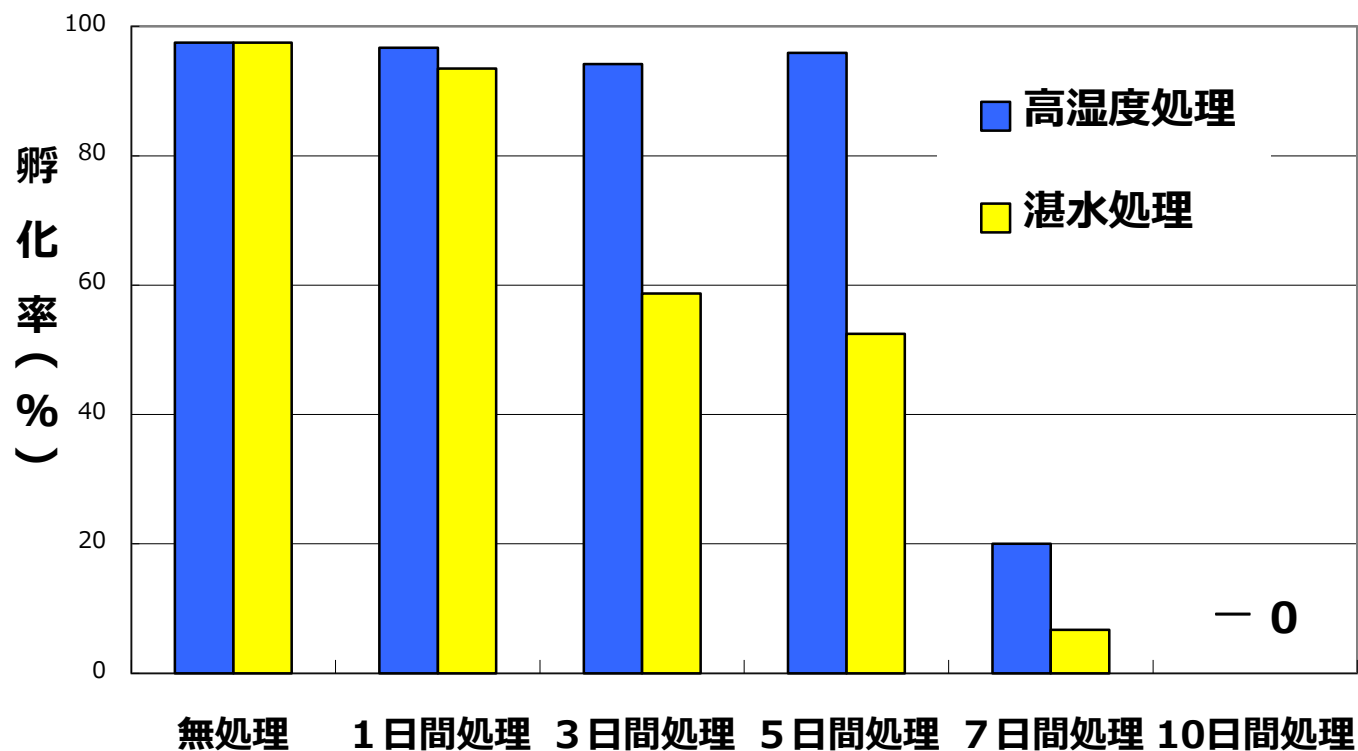
主な研究成果



栽培部門

有機栽培でも使用できる害虫の防除技術の開発

① 散水によるクワシロカイガラムシの防除法



注) 室温25℃の恒温槽内で、供試卵数30卵、4反復で実施
調査は処理後5日目に実施 6日目以降にふ化した個体はなし
高湿度試験の10日間処理のデータはなし

高湿度および湛水処理期間とふ化率との関係（室内試験）

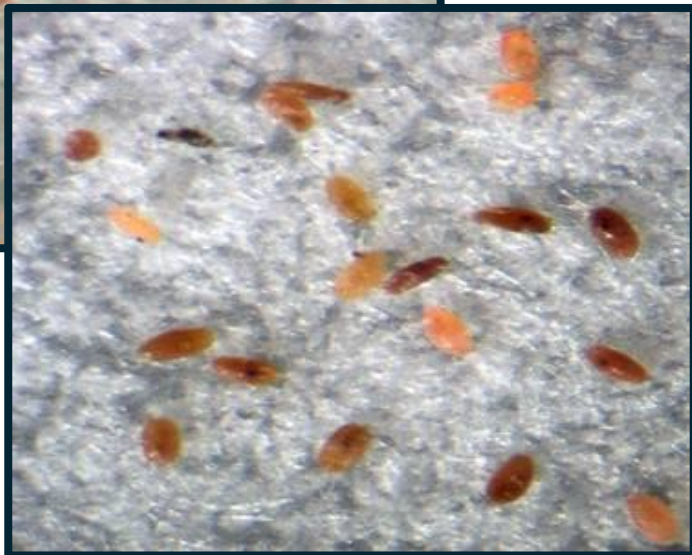
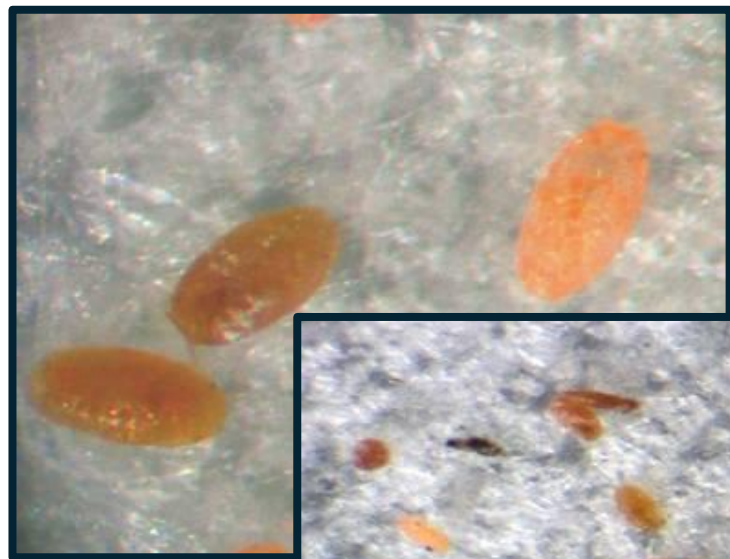


主な研究成果

栽培部門

有機栽培でも使用できる害虫の防除技術の開発

① 散水によるクワシロカイガラムシの防除法



高湿度条件で7日間処理した直後の
クワシロカイガラムシの卵



湛水条件で7日間処理（左）と10日間処理（右）
した直後のクワシロカイガラムシの卵



主な研究成果



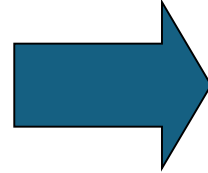
栽培部門

有機栽培でも使用できる害虫の防除技術の開発

① 散水によるクワシロカイガラムシの防除法

茶園では、散水しない場合(通常)はほとんどの卵が孵化する

孵化前



孵化後



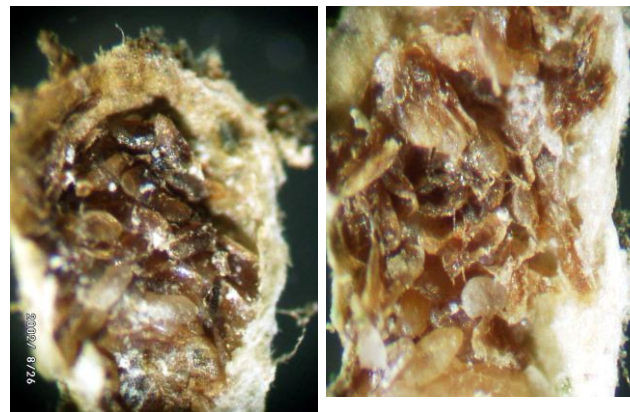
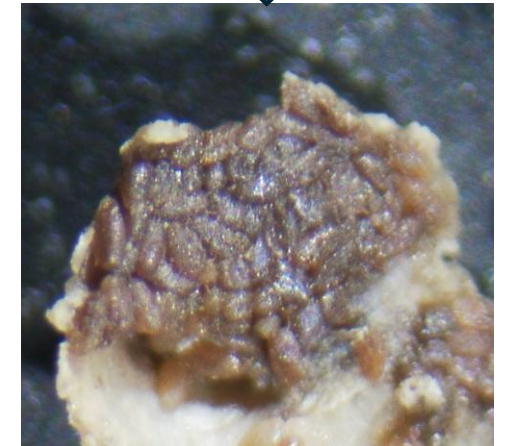
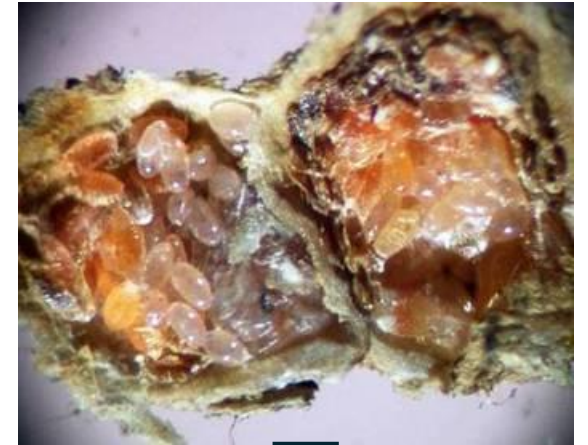
主な研究成果

栽培部門

有機栽培でも使用できる害虫の防除技術の開発

① 散水によるクワシロカイガラムシの防除法

スプリンクラーで散水すると



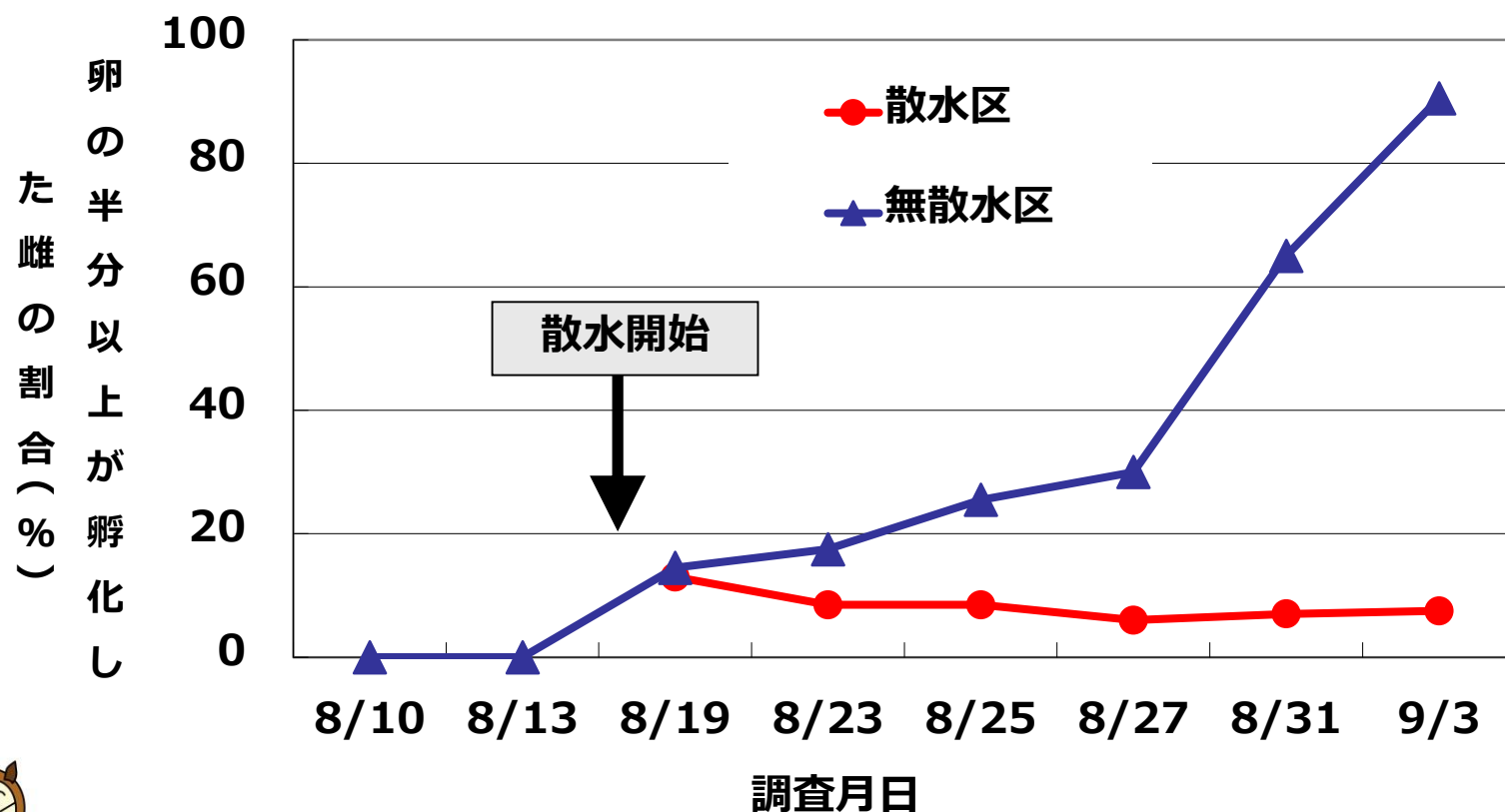
主な研究成果



栽培部門

有機栽培でも使用できる害虫の防除技術の開発

① 散水によるクワシロカイガラムシの防除法



卵の半分以上が孵化した雌の割合 (圃場試験)



栽培部門

日本の
ひなた
宮崎県

輸出を可能にする防除体系の開発・実証試験

日本と米国の農薬残留基準値と適用病害虫一覧表

	対象病害虫	薬剤名	散布 濃度	使用 日数	MRL		備 考
					日本	米国	
2月 下旬	クワシロカイガラムシ	ブルートMC	1000	30	15	15	MRLが日本と同等 (以降は土着天敵を活用)
	カンザワハダニ	ハーベストオイル	100				許容値設定除外
3月 下旬	カンザワハダニ	バロックフロアブル	1000	14	15	15	MRLが日本と同等
4月 下旬	カンザワハダニ	ミルベック乳剤	1000	7	1	未設定	残留性が極めて低い
一 番 茶 摘 採							
二番茶 1 葉期	新芽加害性害虫	スタークル粒粒水剤	2000	7	25	50	MRLが日本より高い
	チャノキノガ						
	炭疽病	Zボルドー	400	7			許容値設定除外
二 番 茶 摘 採							
三番茶 1 葉期	新芽加害性害虫	ウラジDF	1000	7	40	40	MRLが日本と同等
	7月 中旬	ハマキガ類	ハマキ天敵	1000	前日		許容値設定除外
三 番 茶 摘 採							
三番茶 摘採後	輪疫病	アミスターフロアブル	2000	14	10	20	翌年一番茶への残留リスク低い
秋 芽 萌芽期	新芽加害性害虫	コテジフロアブル	2000	7	40	70	翌年一番茶への残留リスク低い
	炭疽病	ダユニール1000	1000	10	10	0.01	翌年一番茶への残留リスク低い
秋芽 2～3 葉期	新芽加害性害虫						翌年一番茶への残留リスク低い
	チャノキノガ	ハチハチ乳剤	1000	14	20	30	翌年一番茶への残留リスク低い
	炭疽病	インターフロアブル	5000	7	10	0.01	翌年一番茶への残留リスク低い
秋 葉 摘 採							

※プロジェクトC0221の支援を受けて作成しています。



② 殺虫剤・殺ダニ剤			2018年11月26日現在												
代表的な農薬	有効成分名	IRAC コード	日本 MRL (ppm)	米国 MRL (ppm)	チリ MRL (ppm)	オーストラリア MRL (ppm)	ニュージーランド MRL (ppm)	中国 MRL (ppm)	インド MRL (ppm)	韓国 MRL (ppm)	タイ MRL (ppm)	フィリピン MRL (ppm)	ベトナム MRL (ppm)	カンボジア MRL (ppm)	ラオス MRL (ppm)
※日本と世界の基準が異なるもの（日本のMRLと世界が異なり、被害が少ないため未記載）															
キルブプロアザル	エタゾロール	20P	10	30	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
アクテクト水溶液	アクトキサム	4A	20	20	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
スタークルフルビン酸 散水剤	ジノフラジン	4A	25	50	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ゲンタツ水溶液	クロキサシジン	4A	50	70	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ネストラン水溶液	アセキノホド	4A	30	50	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
チアミドC	スピメトルム	5B	70	70	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ブルーミング	ピリフルキサベン	7D	15	15	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
コロト顆粒水形剤	ピリフルキサベン	9BP	20	20	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
水溶性アザル	フェン	11A	除検		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
コファアザル	クワシナズール	1E	40	70	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ハバハチ散剤	トルファンズール	21A	20	30	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
エクセルG散剤	シアントラニプロロール	2B	30	30	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ヤムコフロアザル10	シアントラニプロロール	2B	30	30	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ハバチ散剤	シクエンプロロール	2B	40	40	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
フェックスフロアザル	フルベンジアール	2B	50	50	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ウアラック	フロンシカド	2B	40	40	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ハバチ散剤	銀製シリウス				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ハバチ散剤	ケニーリア			除検	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
各種マシン油乳剤	マシンドル				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
シルベメク散剤	シルベメクチン	B	1	無表示	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
パロロクソアザル	トリキソアザル	10BB	15	15	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
オキチス乳剤	SPPT(メフロイラベクト)	12D	4	10	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
カネマトクソアザル	アネキソール	20BB	45	40	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ダニマツクスフロアザル	スピロメクトール	23	30	30	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
水懸性アザル	スピロメクトール				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
※使用にあたって注意が必要なもの（日本のMRLより低い濃度で殺す）															
アブロード水形剤	プロフエシジン	1B	30	20	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ダニートンフロアザル	ファンダロキネート	21A	40	20	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
※殺菌剤であるが、殺虫作用も強い（殺す力に優れる）															
スピノスフロアザル	スピノザル	5	2	0.01*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
アフマー水形剤	エマメクタン家庭用殺菌液	6	0.03	0.01*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
マイコナーフロアザル	ピロエナゼート	20D	2	0.01	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ダニマツクス	ネプファンズール	21A	2	無表示	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

③ 殺菌剤

代表的な農薬	有効成分名(日)	FRAC コード	日本 MRL (ppm)	米国 MRL (ppm)	チリ MRL (ppm)	オーストラリア MRL (ppm)	ニュージーランド MRL (ppm)	中国 MRL (ppm)	インド MRL (ppm)	韓国 MRL (ppm)	タイ MRL (ppm)	フィリピン MRL (ppm)	ベトナム MRL (ppm)	カンボジア MRL (ppm)	ラオス MRL (ppm)
--------	----------	-------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------	---------------------	--------------------	--------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	---------------------

[illegible]

日本とEUの農薬残留基準値と適用病害虫一覧表

	対象病害虫	薬剤名	散布 濃度	使用 日数	MRL		備 考
					日本	E U	
2月 下旬	クワシロカイガラムシ	ブルートMC	1000	30	15	15	MRLが日本と同等 (以降は土着天敵を活用)
	カンザフハダニ	マシン油乳剤	100				許容値設定除外
3月 下旬	カンザフハダニ	バロックフロアブル	1000	14	15	15	MRLが日本と同等
4月 下旬	カンザフハダニ	ミルベクゾ乳剤	1000	7	1	0.1 *	残留性が極めて低い
一 番 茶 摘 採							
二番茶 1葉期	新芽加害性害虫	バリアード顆粒水和剤	2000	7	30	10	減農が早い
	チャノホシガ						
	炭疽病	Zボルドー	400	7			
二 番 茶 摘 採							
三番茶 1葉期	新芽加害性害虫	コサツフロアブル	2000	7	40	50	MRLが日本より高い
7月 中旬	ハマキカ類	ハマキ天敵	1000	前日			許容値設定除外
三 番 茶 摘 採							
三番茶後 摘採後	輪斑病	アミスターフロアブル	2000	14	10	0.05 *	翌年一葉茶への残留リスク低い
秋 芽 摘採後	新芽加害性害虫	コルト顆粒水和剤	2000	7	20	未設定	翌年一葉茶への残留リスク低い
	炭疽病	グコニール1000	1000	10	10	0.05 *	翌年一葉茶への残留リスク低い
	新芽加害性害虫						
秋芽 2～3 葉期		ダントツ水溶剤	2000	7	50	0.7	翌年一葉茶への残留リスク低い
	チャノホシガ						翌年一葉茶への残留リスク低い
	炭疽病	インターフロアブル	5000	7	10	0.05 *	翌年一葉茶への残留リスク低い

※ スパイククーが設置されている茶席では、クワンカサガラムシの防除にはブルーDMCの誘引に、
枝摘れセンサー導入による散水防除を行う。

この防除図は、農研機構・生研支援センター「地域戦略プロジェクトC022」の支援を受けて作成しています。

[illegible]

主な研究成果



栽培部門

輸出を可能にする防除体系の開発・実証試験

(5) 散水防除を導入した台湾・米国向けの輸出対応型 IPM 防除暦 (南九州地方)

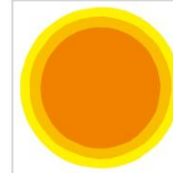
茶期	防除時期	対象病害虫	使用薬剤・防除法
一番茶期	1～2月	カンザワハタニ チャトゲコナジラミ	ハーベストオイル (マシン油)
	3月上旬	カンザワハタニ	タニゲッターフロアブル (スピロメシフェン)
	3月下旬	(カンザワハタニ)	ミルベック乳剤 (ミルベメクテン)
	4月上旬 (一番茶生育期)	(ツマクロアオカスミカメ) (チャノホソカ)	キラップフロアブル (エチプロール)
二番茶期	5月下旬 (二番茶生育期)	チャノミドリヒメコバイ チャノキイロアザミウマ チャノホソカ	アルバリン顆粒水溶剤 (ジノテフラン)
		(炭疽病)	Zボルトー (銅)
	6月中旬 (二番茶摘採後)	炭疽病	深刈り
三番茶期	6月下旬～7月上旬	クワシロカイガラムシ	散水防除
	7月中～下旬 (三番茶開葉期)	チャノミドリヒメコバイ チャノキイロアザミウマ	ウララDF (フロニカミド) または コルト顆粒水和剤 (ピリフルキナゾン)
		(炭疽病)	クプロシールド (銅)
	8月上～中旬 (三番茶摘採後)	輪斑病	フロンサイドSC (フルアジナム)
秋芽期	8月中旬	クワシロカイガラムシ	散水防除
	8月下旬～9月上旬 (秋芽開葉期)	炭疽病、新梢枯死症	ダコニール1000 (クロロタニール (TPN))
		チャノミドリヒメコバイ チャノキイロアザミウマ チャノホソカ マダラカサハラハムシ チャトゲコナジラミ	ハチハチ乳剤 (トルフェンピラト)
		(ハマキカ類)	ディアナSC スピネトラム
	9月	(カンザワハタニ)	マイトコーネフロアブル (ビフェナゼート)
	9月下旬～10月上旬 (秋芽生育期)	炭疽病 網もち病	インターフロアブル (フェンコナゾール)
		チャノミドリヒメコバイ チャノキイロアザミウマ ハマキカ類 マダラカサハラハムシ	テッパン液剤 (シクラニプロール)

カッコ内の病害虫は発生状況に応じて防除

国際競争力強化技術開発プロジェクト「二番茶・秋冬番茶の海外輸出を可能とするIPM体系の開発(2021-2023)の支援を受けて作成



主な研究成果



日本の
ひなた
宮崎県

製茶部門

半発酵茶、発酵茶等の安定生産技術の開発

西臼杵地域における半発酵茶生産の紹介

- ・ 緑茶の消費低迷により荒茶価格が低下
- ・ 特に、二、三番茶の価格低下が顕著
- ・ 茶生産者の経営の安定には付加価値を付ける必要あり
- ・ 西臼杵で生産されている「釜炒り茶」と「烏龍茶」の製造方法が類似



2009年に烏龍茶研究会を作り、試行錯誤しながら烏龍茶を製造



2013年から宮崎県総合農業試験場
茶業支場にて研究開始



主な研究成果



製茶部門

半発酵茶、発酵茶等の安定生産技術の開発

釜炒り茶

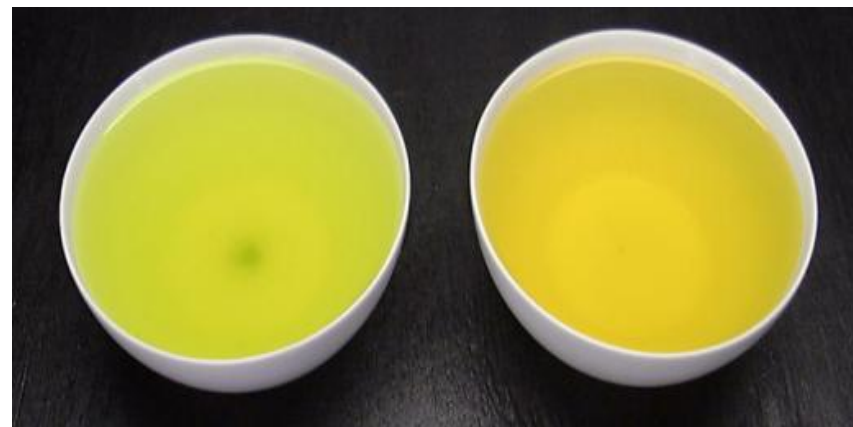
- ◆ 釜炒り茶は**緑茶**の分類
- ◆ 宮崎県は釜炒り茶の**日本一の産地**
- ◆ 煎茶と異なる香味、形状、水色



煎茶
(針状)



釜炒り茶
(勾玉状)



煎茶
(緑色)

釜炒り茶
(黄色)



主な研究成果



製茶部門

半発酵茶、発酵茶等の安定生産技術の開発

釜炒り茶の製造機械



炒り葉機



揉捻機



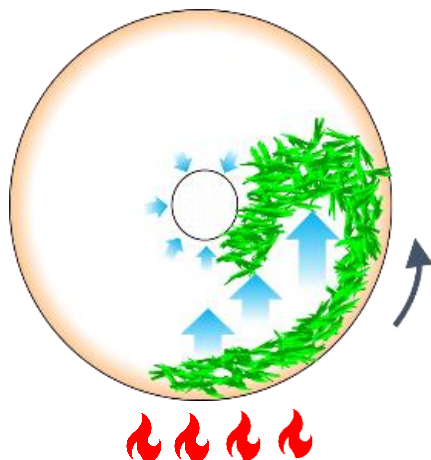
中揉機



水乾機



仕上げ釜



炒り葉機で茶葉を炒って酸化酵素を失活



釜炒り茶と烏龍茶は製法が似ている



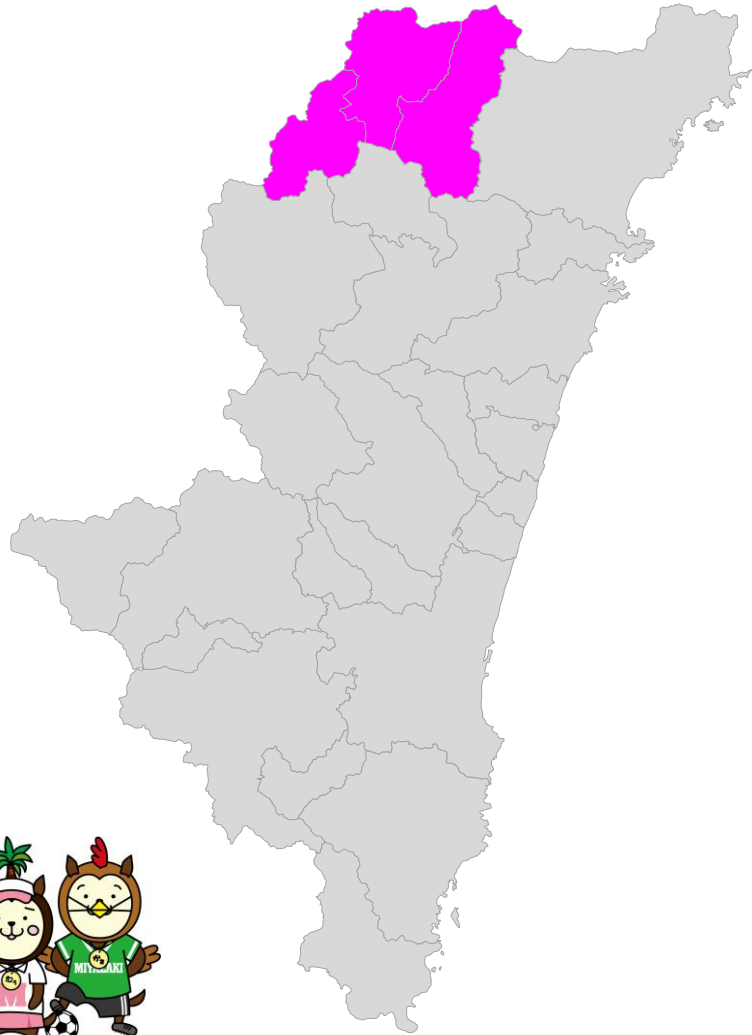
主な研究成果



製茶部門

半発酵茶、発酵茶等の安定生産技術の開発

西臼杵地域の茶園風景



製茶部門

半発酵茶、発酵茶等の安定生産技術の開発

日本における半発酵茶生産の課題



日干萎凋



室内萎凋



殺青

揉捻

乾燥

萎凋作業は13～15時間を手作業で重労働

環境条件に左右され品質が不安定

外国産に比べて香りが低い

- 産業的な生産は非常に少ない
- 緑茶用品種では半発酵茶の生産は困難との認識



主な研究成果



製茶部門

半発酵茶、発酵茶等の安定生産技術の開発

室内萎凋作業を大幅に省力化できる『萎凋機』の開発



日干萎凋



室内萎凋



殺青



揉捻



乾燥

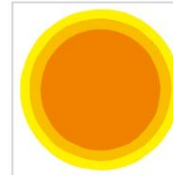


宮崎県総合農業試験
場茶業支場と製茶機
メーカーであるカワ
サキ機工株式会社と
の共同開発

大幅な高品質化と
省力化を実現



主な研究成果



日本の
ひなた
宮崎県

製茶部門

半発酵茶、発酵茶等の安定生産技術の開発

内部は金属製



扉はメッシュ方式と密閉式



重量センサー



制御と監視



- ◆ ドラム内の温度
- ◆ 風量、風温
- ◆ ドラム回転時間
- ◆ 回転速度
- ◆ 静置時間
- ◆ 重量減
- ◆ 茶葉温度
- ◆ ドラム内湿度

- ・ 1回当たり生葉50～80kgの処理能力
- ・ 胴サイズは胴長3m× 胴直径1.2m



主な研究成果



製茶部門

半発酵茶、発酵茶等の安定生産技術の開発

緑茶用品種を用いた半発酵茶製造のポイント

1) 緑茶用品種に合わせた萎凋機の設定

- ・ 品種により香りの強弱あり
- ・ 品種特性に応じた設定が必要

2) 釜炒り茶用機械を用いた製造技術

- ・ 緑茶用品種に適した炒り葉方法
- ・ 連続式炒り葉機による量産化



乗用型摘採機で摘採



烏龍茶の外観、水色



主な研究成果



育種部門

これまでに宮崎県で育成した緑茶用品種

品種名	対象茶種	品種登録年	来歴
たかちほ	釜炒り茶用	1953	宮崎県在来種実生
やまなみ	釜炒り茶用	1965	中国湖北省導入実生
うんかい	釜炒り茶用	1970	たかちほ×宮F19-4-48
みねかおり	釜炒り茶用	1990	やぶきた×うんかい
みなみかおり	煎茶用	1990	やぶきた×宮A11
みなみさやか	煎茶・釜炒り茶用	1994	宮A6×F1NN27
さきみどり	煎茶用	2001	F1NN27×ME52
はるもえぎ	煎茶用	2006	F1NN27×ME52
みやまかおり	煎茶用	2006	京研283×埼玉1号
ゆめかおり	煎茶用	2009	さやまかおり×宮崎8号
はるのなごり	煎茶用	2012	埼玉1号×宮崎8号
なごみゆたか	釜炒り茶用	2012	埼玉16号×福8
きらり31	煎茶・玉露用	2016	さきみどり×さえみどり
はると34	煎茶・かぶせ茶用	2020	さえみどり×さきみどり
暖心37	煎茶・かぶせ茶・粉末茶用	2021	ゆめかおり×さえみどり



交配から品種登録まで15年以上



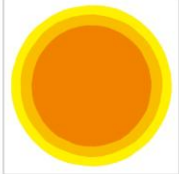
育成した緑茶用品種の半発酵茶・発酵茶適性



2024年10月24日に、宮崎県総合農業試験場茶業支場に来場された、台湾の農業部茶及飲料作物改良場の「蘇宗振」場長さん方に、これまで育成した緑茶用の品種（3品種）の【半発酵茶】と【発酵茶】適性について評価して頂いた（V A Sテスト）



育成した緑茶用品種の半発酵茶・発酵茶適性



日本の
ひなた
宮崎県

育種部門

VASテスト：

長さ10cmの黒い線上に

- ・とても嫌い： 0
- ・ふ つ う： 50
- ・とても好き： 100

とした連続スケール上で
評価を行い数値化するテ
スト方式



烏龍茶アンケート

Q 1 あなたの性別をお答えください 男性 女性

Q 2 あなたの年代をお答えください

10代以下 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

Q 3 **今回飲んだお茶は好きですか？嫌いですか？**

例の書き方を参考に×印で答えてください

例

とても嫌い	X	ふつう	とても好き
-------	---	-----	-------

A 品種

--	--	--

B 品種

--	--	--

C 品種

--	--	--

とても嫌い

ふつう

とても好き

育成した緑茶用品種の半発酵茶・発酵茶適性



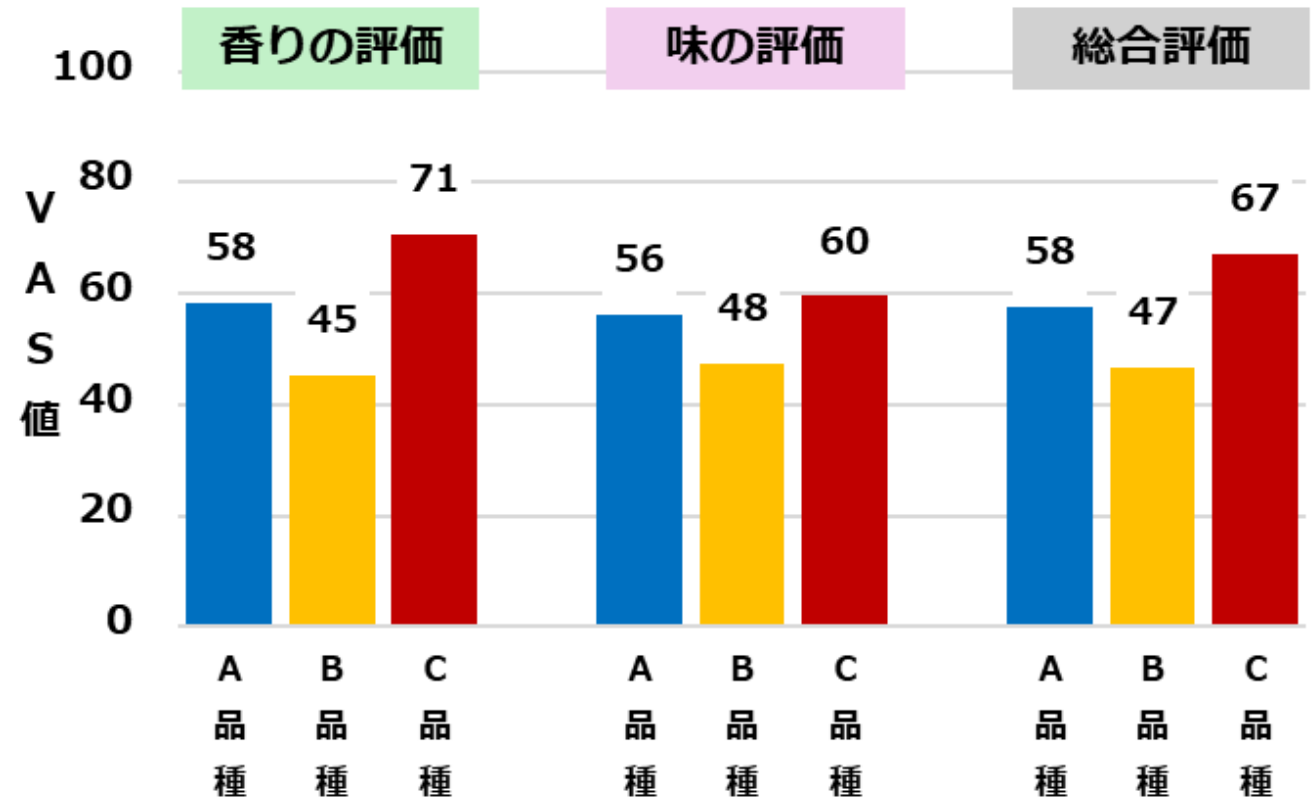
育種部門

半発酵茶適性

【サンプルの製造方法（三番茶）】

- ① 日干萎凋を行った後にドラム式萎凋機で萎凋
日干萎凋 5%減
室内萎凋終了時20%減
- ② 殺青機で炒り葉（200℃ 3分程度）
- ③ 固定釜で炒り葉（100℃ 5分程度）
- ④ 揉捻（10分）
- ⑤ 水乾（40分程度）
- ⑥ 棚式乾燥機（1時間程度）

※釜炒り茶製法（1kg機）で製造



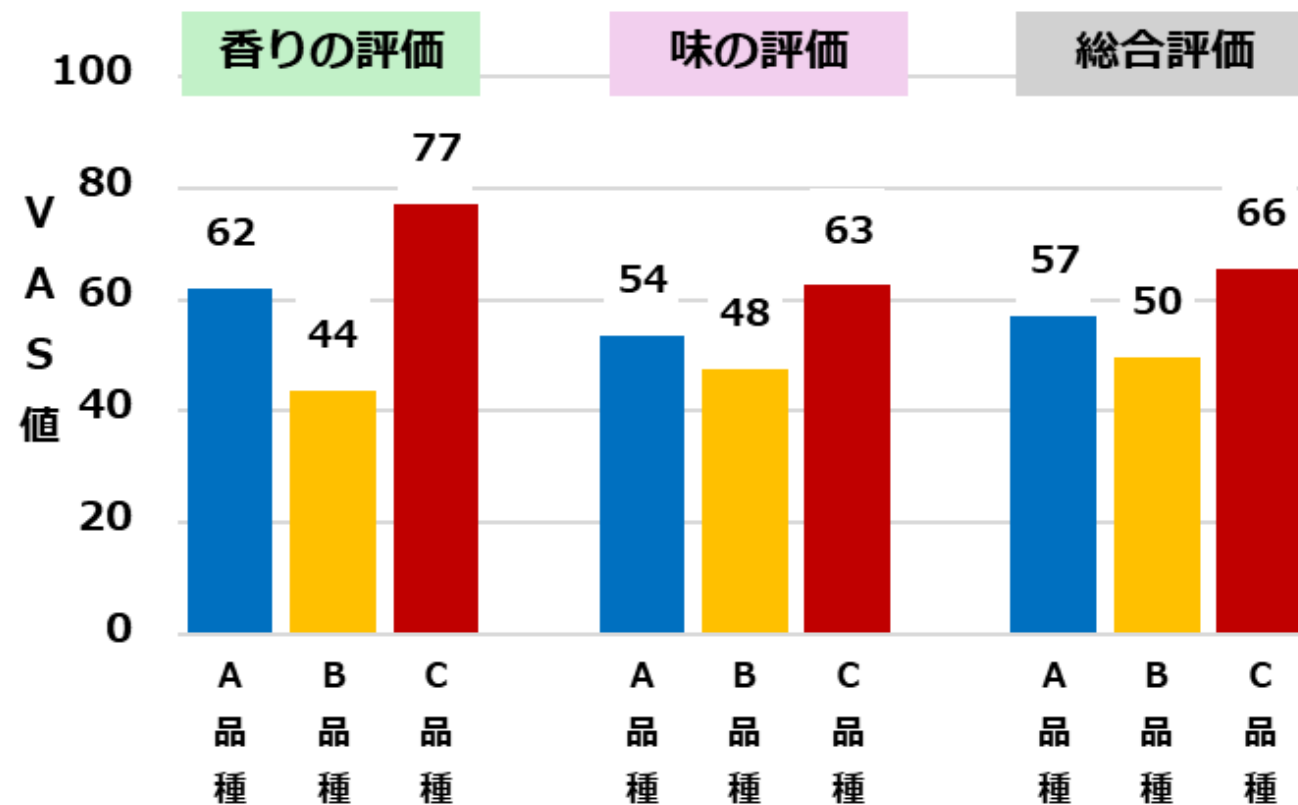
育成した緑茶用品種の半発酵茶・発酵茶適性



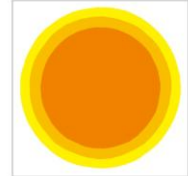
育種部門 発酵茶適性

【サンプルの製造方法（三番茶）】

- ① 日干萎凋を行った後にドラム式萎凋機で萎凋
日干萎凋 5%減
室内萎凋終了時35~40%減
- ② 揉捻（1時間）
- ③ 発酵（2時間室温25℃）
- ④ 発酵止め（棚式乾燥120℃、15分）
- ⑤ 乾燥（棚式乾燥70℃、45分）



今後の研究について



日本の
ひなた
宮崎県

<栽培部門>

- ・有機栽培で利用できる技術開発

<製茶部門>

- ・半発酵茶や発酵茶適性の高い品種の選定
- ・煎茶地帯でも生産できる香りの高い製品開発

<育種部門>

- ・有機栽培向けの品種・半発酵茶や発酵茶向け品種等、宮崎オリジナル品種の開発



これら各部門の研究成果を融合させ、宮崎県でしか味わえない商品を開発し、茶農家の経営安定化が図られるよう研究を進めていく予定



ご清聴ありがとうございました

